

警察の巡回連絡 徹底を」 殺人事件被害者遺族ら 国へ要望書



記者会見する「宙の会」の小林賢二会長(中)と記者会見する「宙の会」の小林賢二会長(右)は、15日、千代田区神田鍛冶台3丁目

殺人事件の被害者遺族らとつくる「宙の会」が、千代田区内で検事を計画する人に対面した。林賢二会長(右)は、犯行の「兆し」を把握できる可能性がある。近年は組織に属さず、単独で攻撃を図る「ロー

警察の巡回連絡徹底を

「宙の会」会見で遺族ら訴え

殺人事件被害者の遺族らとつくる「宙の会」(小林賢二会長)は15日、都内で会見を開き、警察官が被害者宅の自宅を訪ねる巡回連絡を計画することや、被害者宅の徹底を訴え、被害者宅の徹底を望むが、現時点では、令和4年に安部三元首相が弾丸に倒れ、全体で基本に根差した活動に「自覚をいただきたい」と話した。そのほか、中学校などで被害者遺族が命の大切さに関する講演を行う教育の徹底や、被害者側への損害賠償が確実に履行されるため、国が立て替えた上で加害者側から資金を回収する「代執行」制度の導入、捜査でのDNA情報さらなる活用も求めた。

また、継続して訴えているDNA捜査の整備や、加害者の賠償金を国が肩代わりする代執行制度の確立を求める陳情。要望書もまとめた。文書は今後国に送付するとい

う。(藤田大進)

DNA捜査活用 再度の要望確認

甲の会が総会殺人事件の被害者遺族つくる宙(すゑ)の会は15日、千代田区内で総会を開いた。また、「と話し、国が遺族への損害賠償

2025年(令和7年)3月16日(日) 毎日新聞
甲の会は2009年に結成、10年に殺人罪などの公訴時効撤廃を実現した。1998年に葛飾区の自宅で次女(当時21歳)を殺害された小林賢二会長(78)は、未解決事件の早期解決と遺族としての悲しみを持つ人がないためにできること

を立替えた上で加害者に請求する「代執行制度」のほか、犯人のDNAを似顔絵作成や年代推定に活用するなどの法整備を引き続き国に求めていくことを確認した。今後、要望書などを送付する。

幅などの情報を活用する捜査手法の導入や、警察官が各家庭を回って防犯を呼びかける巡回連絡の徹底を求める要望書も決議した。

賠償金の代執行
制度化を陳情へ
被害者遺族ら国向け

2025年(令和7年)3月16日(日曜日) 記者会見